



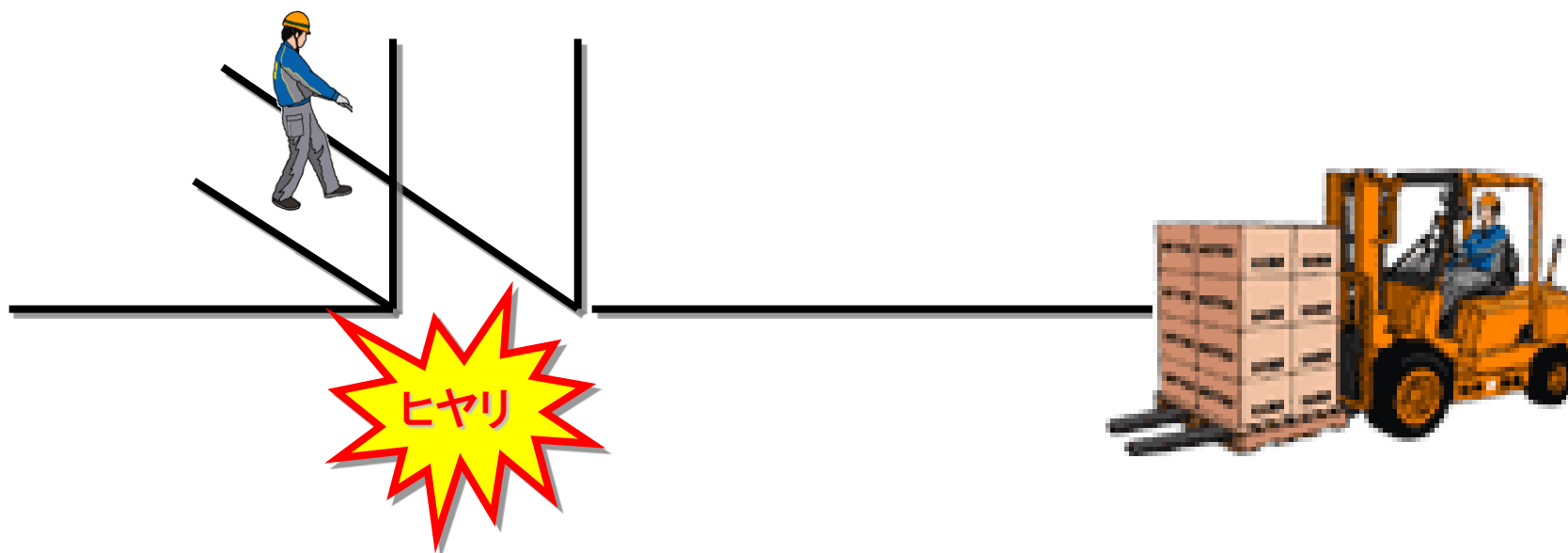
フォークリフト作業 安全性向上への取組みについて

GLOBAL
LOGISTICS
SOLUTIONS

NIPPON EXPRESS

現状の把握と問題点

前進走行時の方がより多くヒヤリハットになっている



前進走行時はフォークリフトの構造上、曲がり角の安全を確実に目視で確認する際、爪や荷物が先に出て、死角からの飛び出しに対応できない

フォークリフト側だけの注意では不十分！！

対策の検討

チームミーティング実施

オペレーター側だけでは歩行者との接触を防ぐことは難しい

オペレータと歩行者がお互いに注意する必要がある！！

















フォークリフトが接近していることを知らせられないか？



前進走行時も常時ブザーを鳴らせば注意を促す事が出来る！

ブザーの設置

① ブザー設置前・設置後で歩行者がリフトに気づく距離を確認

リフトから歩行者の距離	設置前	設置後
5m	 	 
10m	 	 
20m	 	 
30m	 	 

効果の確認

更にフォークの側面にトラテープ表示を貼り目視による『見える化』



・歩行者が飛び出してきたとしても目立つ表示で接触の防止！

前進ブザーにより音の『見える化』



・トラテープ表示を見逃したとしても音で接近を知らせる！

フォークリフトオペレーターの安全意識向上にも繋がった！！